

内容	今後、日本は増税と福祉制度の充実により福祉先進国へと近づくでしょう。その時代に相応しい教育として「サドベリー教育」の考え方を大多喜町の理念に取り入れて頂きたいと願っております。「サドベリー教育」とは、子どもたちが自分の興味に沿って自由に学び、大人が過度に管理せず自主性と自己責任を尊重する教育モデルです。 運営にも子どもが参加し、主体的に考え行動する力を育みます。特に新たな学校設立を提案するものではなく、文部科学省の教育カリキュラムと併せて「サドベリー教育」というものがあることを知って頂ければと存じます。 大多喜町が子どもたちの自主性を大切にし、明るい未来を築く町となることを心より願ひ申し上げます。
回答	サドベリー教育につきましては、子どもの主体性・自己決定・相互尊重を重んじること、自分の興味・関心に沿って学習できるように時間の縛りが無いこと、担任ではなくサポートをする大人がいることなど、自己解決ができる子どもの育成を行う有意義な教育だと認識しております。 本町の学校においても、各教科で「自ら考え、自己の学習活動を振り返って、次の学習や将来につなげる学習」を行っており、自己解決ができる子どもの育成は大事であると考えております。また、生活科や総合的な学習の時間では、自主性を重んじ、自分でテーマを決め、植物を育てたり、知りたいことを調べたりしています。 今後も全ての子ども達が、学校を卒業した後の社会生活で困らない知識と誰からも愛される人間性を備えられるように、様々な指導方法を取り入れていきたいと存じます。貴重なご意見ありがとうございました。